

# 釧路を若者集う街に

## 3 大学で研究 施策提言へ

釧路市で若い観光客や定住者を増やしていくには、どんな施策が有効だろうか。道内三つの大学でこんなテーマの研究が進められ、年末に市に具体策が提言されることになった。



記者会見で取り組みを説明するSCAN代表の三浦さん(中央)＝釧路市役所で

研究の推進役となっているのは、道内の大学生でつくる「北海道学生研究会SCAN」。2010年に釧路公立大の学生が設立した交流グループで、現在は、北見工業大や北海道教育大釧路校など道内7大学の計16の研究室が参加している。

SCANはこれまで、各地域が抱える課題について個別に調査・研究を行い、合同発表会を開いてきたが、今回は釧路市からの助成金をもとに、共通の研究テーマに別々の角度から迫ることになった。釧路の活性化へ向けた研

究を進めるのは、釧路公立大、北海学園大、札幌大の経済系の4研究室。具体的な研究内容としては、交通費の学生割引を活用した観光ルートづくり(北海学園大・宮島ゼミ)、外国人観光客誘致に向けた観光地の広域連携(札幌大・武者ゼミ)などを挙げている。

4研究室はSCANの募集に応じて研究内容を提案し、市も交えた審査の末に採用された。市から各研究室には助成金5万円が提供され、研究成果の発表会は12月12日、釧路公立大で開かれる。

SCANの三浦明寛代表(21)(釧路公立大3年)は市役所で13日に行われた記者会見で、「学生が地域の課題と向き合う貴重な取り組み。地元釧路の課題解決につなげたい」と語った。市は提言の実現性や効果

が高いと判断すれば事業化を図る方針で、「質が高く

幅広い提言に期待し(都市経営課)として

## 特殊詐欺にご用心

北見署 年金支給日に啓発



北見署は年金支給日の14日、北見市内の金融機関前で、振り込め詐欺など特殊詐欺の被害防止に向けた街頭啓発を行った。

信用金庫や銀行などで実施した。

道警北見方面本部の各署が、支給日に合わせて行った取り組みの一環。北見署員や日本年金機構北見年金事務所の職員らが、市内の

「年金を口実にした犯罪ください」「特殊発令中」などと書ラシや、ポケットユなどの啓発グッズをお年寄りらに配布を促した。

ムが競演する。

予定だ。当日は午後1時開

が着注、長六占の